

令和2年9月2日

印南町長
日裏 勝己 様

印南町立中学校の適正規模に関する印南町教育委員会の考えについて

印南町教育委員会

1 はじめに

全国的に少子高齢化が進行する中で、当印南町においても同様の課題があり児童・生徒数は減少しています。

このような状況において、町長より「適正規模について」検討するように指示を受けるとともに、印南町議会においても、議員各位から適正規模や統合等について、一般質問を受けて参りました。

この間、印南町教育委員会において、「子ども達にとってよりよい適正規模とは」という視点で検討を行い、一定の考えをまとめましたので、町長に「適正規模に関する印南町教育委員会の考え」としてご報告をいたします。

2 審議日時

(1) 平成29年12月定例教育委員会

平成18年6月13日和歌山県教育委員会公立小・中学校の適正規模化について（指針）や平成27年1月27日文部科学省公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引を基に、学習会を行い、その後、自由な意見交換を行った。

(2) 平成30年1月定例教育委員会

前回に引き続き、生徒数の推移を基に、自由な意見交換を行った。

生徒数の資料を基に、委員5名の方向は、小学校は、地域のコミュニティとしての役割は大きいという意見が多かった。中学校については、1校案や2校案の生徒数やメリット・デメリットも含め、検討した。引き続き、令和元年9月に「子育てニーズ調査アンケート」が行われるので、保護者の考えを把握するために、アンケート項目に中学校統合についての問いを行い、その結果を参考資料とし検討を行うこととする。また、令和元年度に「まちづくりのための町民アンケート調査」も行われるので、その結果も参考資料とするとして、継続審議とする。

(3) 令和元年12月定例教育委員会

子育てニーズ調査アンケート中学校統合についての集計結果を事務局より委員に示す。継続審議とする。

(4) 令和2年5月定例教育委員会

昭和の印南町学校適正配置審議会答申を学習する。4中、4小となって、答申は失効となったが、その当時の審議内容を学習する。答申の主旨は、現在にも通じる内容であり、基本的な考え方は、一致する。「まちづくりのための町民アンケート調査」自由意見や今までの審議経過を提示し、自由な意見交換を行った。

次回、7月臨時教育委員会を開催し素案（案）を基に集中審議をするとし、素案（案）を提示した。次回まで各委員が読んでおくとし継続審議とする。

(5) 令和2年7月臨時教育委員会を開催し、素案（案）を基に、適正規模について集中審議を

行う。修正をしながら印南町立中学校の適正規模に関する教育委員会の考えをまとめる。継続審議とする。

- (6) 令和2年8月定例教育委員会で「適正規模に関する印南町教育委員会の考え」をまとめ、教育委員会として、全会一致で承認する。

3 生徒数の推移

(1) 生徒数の推移 4校

令和元年7月1日

	H31	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13
印南	106	111	108	99	89	72	74	65	72	71	73	84	86
切目	46	45	44	41	45	42	39	37	39	34	26	22	29
清流	40	37	32	23	27	33	39	42	36	33	29	30	23
稲原	32	38	44	41	40	39	41	38	34	31	29	30	28
合計	224	231	228	204	201	186	193	182	181	169	157	166	166

(2) 生徒数の推移 4校・学年別

		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13
印南	3年	36	34	41	34	25	31	16	27	22	23	26	24
	2年	34	41	34	25	31	16	27	22	23	26	24	34
	1年	41	34	25	31	16	27	22	23	26	24	34	28
切目	3年	16	17	12	15	14	16	12	11	14	14	6	6
	2年	17	12	15	14	16	12	11	14	14	6	6	10
	1年	12	15	14	16	12	11	14	14	6	6	10	13
清流	3年	12	17	8	7	8	12	13	14	15	7	11	11
	2年	17	8	7	8	12	13	14	15	7	11	11	8
	1年	8	7	8	12	13	14	15	7	11	11	8	4
稲原	3年	9	16	13	15	13	13	12	15	9	10	12	7
	2年	16	13	15	13	12	12	15	9	10	12	7	11
	1年	13	15	13	12	14	15	9	10	12	7	11	10

(3) 1校案、2校案の生徒数の推移

① 1校案

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R11	R12	R13
3年	73	84	74	70	60	71	55	67	60	54	55	48
2年	84	74	70	60	71	55	67	60	54	55	48	63
1年	74	70	60	71	55	67	60	54	55	48	63	55
	231	228	204	201	186	193	182	181	169	157	166	166

※各学級2学級編成となる。1学級の規模（人数）は、25人から35人編成となる。

② 2校案

例えば印南・稲原

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R11	R12	R13
3年	45	50	54	48	38	43	30	42	31	33	38	31
2年	50	54	48	38	43	30	42	31	33	38	31	45
1年	54	48	38	43	30	42	31	33	38	31	45	38
合計	149	152	140	129	111	115	103	106	102	102	114	114

※令和6年から単学級の学年が生じる。

例えば切目・清流

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R11	R12	R13
3年	28	34	20	22	22	28	25	25	29	21	17	17
2年	34	20	22	22	28	25	25	29	21	17	17	18
1年	20	22	22	28	25	25	29	21	17	17	18	17
合計	82	76	64	72	75	78	79	75	67	55	52	52

※各学年 すべて単学級である。

4 こども、子育て支援計画アンケート結果

令和元年9月 現在

①問い 現在、町内の4つの中学校は、生徒数の減少や子どもたちへの集団教育という点からも中学校の統合等について、検討を深めていくことが必要と考えています。町立中学校の統合が必要だと思いますか。(1つに○)

	必要	必要でない	無回答
就学前 保護者	67.4	25.4	7.2
小学校 保護者	61.9	34.3	3.9

5 施設設備の課題について

建設 切目中学校	昭和52年5月	
大規模改修	平成16年	
体育館新設	平成19年1月	津波浸水区域
建設 稲原中学校	昭和57年3月	
大規模改修	平成20年8月	土砂災害区域
建設 印南中学校	平成 5年9月	
		津波浸水区域、土砂災害区域
建設 清流中学校開校	平成11年4月	土砂災害区域

すべての校舎が土砂災害、津波浸水区域に含まれている。

印南中学校、清流中学校では、建設後20年以上が経過し、部分的な施設の修繕が必要になってくると考える。

6 検討事項

印南町教育委員会では、「子どもたちにとって、よりよい教育環境、学習環境とは」という視点で検討を行ってきた。

少人数であることで、一人一人へのきめ細やかな指導や発表の機会が十分に行える。家族的な雰囲気がある。地域と密着している。また、人数が少ないことで役割や出番が多くなったり、体験学習等の小回りのよさや一人一人の実技・実習や体験の機会が十分に保障されたり等の現状のメリットはあるが生徒数の減少によって課題も山積しているという認識で一致した。

(1) 現状における課題（デメリット）

- ① 少人数による人間関係の固定化、新たな人との出会いが少なく、特に、人間関係がこじれた時に、修復しにくい。また、社会性、協調性、コミュニケーション力を育む条件が弱くなる。
- ② 生徒間の人間関係や相互の評価が固定化し、個々が周りを意識し変化しにくい。
- ③ クラス内の男女比の偏りが生じやすい。
- ④ 協働的な学びなど多様な学びの形態や指導方法をとることに制約が生じる。
- ⑤ 少人数によって、多様な意見の交換の場が不足し、今、求められている表現力、思考力、判断力等の学力の育成のための学びの条件、機会が制約される。
- ⑥ 体育科の球技や音楽科の合唱や合奏のような集団学習に制約が生じる。
- ⑦ きめ細かく指導をしすぎること、生徒が受け身の学習に陥ったり、依存心が大きくなって主体的、自主的な姿勢が育ちにくくなったりすることが危惧される。
- ⑧ 部活動において、部活数が限られ選択肢が少ない。また、団体競技である野球やバレーボール等の競技が成立せず、文化部が設置できていない。
- ⑨ 運動会、体育祭、文化祭、学習発表会等の集団活動・行事の活気等の不足が指摘されている。
- ⑩ 小規模学校では、教員の人数が減り、特に芸術等の専門教員を確保することが困難である。
- ⑪ 4中学校の校舎は、清流中学校で22年、印南中学校27年を迎えた。切目、稲原は大規模改修等行っているが、印南中学校、清流中学校も修繕が必要となってくる。

(2) 多人数になることのメリット

- ① 人数が増えることで、1学年2学級編成ができる。
- ② ある一定の人数の学級ができることで、男女比の偏りや少人数による人間関係の固定化、相互の評価の固定化が解消できる等、多様な人間関係が構築できる条件が増える。
- ③ ある一定の人数の学級ができることで、男女比の偏りがあっても、一人や複数人の解消ができる。
- ④ 多様な意見が出しあえる条件が作られ、多様な学びの形態や指導法がとれる条件が整う。
- ⑤ 今、求められている表現力、思考力、判断力等の学力の育成のための学びの条件が整う。
- ⑥ 体育科の球技や音楽科の合唱や合奏のような集団学習の条件が整う。
- ⑦ 生徒がお互いに切磋琢磨し、共に伸びるために、主体的、自主的な姿勢を醸成する条件が整う。
- ⑧ 運動会、体育祭、文化祭、学習発表会等の学校行事や教育活動が、規模が大きくなることで学級や学校に活気が生まれる条件が整う。
- ⑨ 部活動において、団体競技が成立する条件や文化活動の部が設置できる条件が増える。
- ⑩ 土砂災害や津波浸水域外に新しい校舎を新設することで、安心・安全の確保ができ、学習環境がよくなる。特に、体育館空調、ICT、英語科、理科等を中心に教育環境の充実が図っていける。

7 印南町教育委員会の考え

児童生徒数の推移、現状の課題、アンケート結果等を参考に、教育委員会で検討を行ってきました。「こども園が1園となったのだから、小学校、中学校とも統合してはという意見」や「中学校2校案にしてはという意見」等、貴重な意見を述べてくれました。それらの多くの意見を踏まえた上で、印南町教育委員会において、「適正規模について」、慎重に審議してきました。

「ふるさとが人を育み、人がふるさとを創る。」「ときめく子どもたちの未来のために」という町づくりの視点や「どのような子どもを育てたいのか」という人づくりの視点にたって議論を行ってきました。「小学校の低学年は、きめ細かく丁寧に、児童の発達段階を踏まえた教育を。中学校は、将来を見据え、切磋琢磨をし、生徒の自律と自立を育む。自主性、主体性を育てる教育を。」行っていくことが大切であるということで基本的な考えは全員が一致した。

結果、教育委員会として、「小学校は、地域コミュニティの果たす役割が大きい。当分の間、現状を維持する。中学校は、校舎の津波浸水、土砂災害地域を解消し、2学級編成ができるように、町内4中学校を1校に統合する。」ことが望ましいという考えに至りました。

統合のコンセプトは、「一人一人を大切に。いなみから国際化へ ～学校・地域の活気と ICT、英語教育の充実による人材の育成～」とします。

コンセプトを達成するために、現状施設では、教室等不足するとともに、ICT、英語教育の推進等、教育環境の充実のため、新設をして頂きたい。

なお、配慮を要する事項として

- (1) 学級規模が大きくなることから基礎学力の定着のために、指導者は、生徒一人一人の生活や学力の見とりを行い、指導方法の工夫、改善を図るため、一人一人に寄り添った指導や個別的な指導を組織的に行うこと。
- (2) 「不登校、いじめのサインを見逃さず」、組織的に対応する体制を確立すること。
- (3) 安全への配慮を要する生徒や生活・学習を支援するために、町学習支援員の配置を願いたい。
- (4) 特別支援教育のニーズが高まっている中で、自立と自律を育むため、個別の指導計画を作成し、一人一人に配慮した教育を進めること。
- (5) 現在まで大切にしてきた地域との結びつきや連携した活動を絶やさずに、「地域とともにある学校」づくりを進めること。

「子どもたちにとって、よりよい教育環境、学習環境とは」という視点で町民、保護者、町議会議員等の皆様方に、適正規模に関する議論を始めていく資料として提起させて頂きたいと考えます。

未来に生きる印南町の子どもたちのために、すばらしい教育環境で心身ともに豊かに成長できるように切に願っています。

以上教育委員会としての考えを町長に申し上げます。

検討資料1 国や県の動きについて

和歌山県教育委員会平成18年6月13日公立小・中学校の適正規模化について（指針）や文部科学省平成27年1月27日公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～ が示されています。

これらの指針や手引によれば

(1) 学校規模の適正化が課題となる背景

児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられる。

(2) 学校規模の適正化

法令上、学校規模の標準は、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされている。特別の事情があるときはこの限りでない。

(3) 望ましい学級数の考え方

小学校では、複式学級を解消するためには、1学年1学級以上であること。また、小中学校とも、全学年でクラス替えを可能にしたり、学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには、1学年2学級以上であることが望ましい。

(4) 通学

小学校は、4km以内、中学校は6km以内とされている。

検討資料2 文部科学省中学校設置基準

検討資料3 印南町学校適正配置審議会答申 昭和63年12月26日については失効 4小4中体制

検討資料4 こども、子育て支援計画アンケート

(1) 就学前の保護者自由記述

【必要】

○生徒数が減少していく傾向は変わらないと考えるので、統合すべきだと思う。また統合によって生徒数が増え、勉強・クラブ活動で切磋琢磨していけると思う。

○都会と田舎とで教育、特に集団教育での差が出ないように、統合していくことは必要不可欠だと思う。

○小学校から中学校の9年間、人数も変わらず、クラス替えもなく、刺激がないと思う。クラブ活動の数も限られ、子ども達の活動範囲が狭くなり、せっかく伸ばせるところも伸ばせずもったいない。4つの学校を1つとはいかなくても、せめて2つずつにするなど、なるべく早くの統合を検討してもらいたい。

○今後、人数の具合で検討が必要。

○中学校の統合ももちろん必要だと思うが、小学校の統合も早く実現してほしい。

○部活動などが今のままだと思うようにできない気がする。

○できるだけ地区内の中学校に通えるのがベストだが、学年の人数が10名以下になったら統合する方が

よいと思う。

- 登校距離が長くなると、送り迎えが必要になるのが心配である。統合にあたり、お友達が増えるのは良いことだと思う。運動会や文化行事など催し物が楽しくなり、登校が楽しみになってくれると嬉しい。
- 既存の校舎を使って1校にするのでは廃校となる校区の住民の理解を得るのは難しいように思う。新しく建てる必要があると思う。
- 適正な生徒数の方が教育が行きわたる気がする。
- 生徒数が少ないとクラブ活動等が十分にできないので、統合は必要だと思う。こども園で仲良くなったお友達と離れ離れになるのが、少しかわいそうだ。
- 地域によって学力の差が出る。統一化して差をなくした方が高校受験にもよいのではないか。学力競争時代の中でのんびりしていると、高校・大学についていけない。
- 統合に関してはメリット・デメリットの双方があると思われるが、教育という視点からは必要であると考え。土地の確保、通学方法、クラブ活動、教職員の配置等、課題はあるかと思うが、個人的には、統合については前向きに思っている。
- 人数が少ないとさみしい感じがする。少ないままよりも、みんな集まって楽しく勉強したり、集団教育をする方が子ども達にとってもよいと思う。
- 中学校だけでなく小学校から統合してほしい。こども園からの人間関係が途切れてしまうより、生活もなじみやすいかと思う。
- 小・中とも統合してほしい。こども園で、お友達と離れ離れになるのはかわいそう。中学校は人数が少ないため、クラブ活動ができない。
- 生徒数が少ないことで経験できないことが増えるのではないか。部活動等の数が限られてしまうことや、クラス替えの経験がない等。少人数には少人数のよさがあると思うが、多くの人の中で人間関係の構築等も、学生時代の中では大切なことだと思う。
- クラブ活動も幅広くできると思う。
- こども園で一緒だった友達と再会になるので、子ども同士で違和感はありませんと思う。クラブ活動の制限等があると、したいことができないのでかわいそうに思う（人数が少ないためできない等）。
- こども園では大人数、小学校で少人数になってしまい、中学校ではさらに少人数になる。大人数の中で色々な友人や教員と関わってほしい。
- 生徒数の減少で統合にならざるを得ない時は仕方ないとは思っている。
- 早急に統合を進めてほしい。
- 生徒数が多い方が子どもにとってよいと思う。中学校に限らず小学校も統合が必要だと思う。
- 統合するのなら早くしてほしい。
- これからも子どもの人数が少なくなるのなら、統合するのも仕方がないと思う。中学校の統合だけではなく、小学校の統合も同じように考えていかなければならないのではないか。
- 少子化の時代に統廃合はやむを得ないと思う。クラスの人数に対して一人の先生では勉強の質がかわってくる。
- 子どもの環境で見ると人数が少なくて友人を作るのも大変なのではないかと思う。部活やクラブ等もやりたいものが人数不足で制限されてしまっているのではないか。反対している人の意見を聞いてみたい（何が問題なのか）。
- 少人数のメリットもあると思うが、デメリットの方が大きいと思う。クラブが少ない、入りたいクラブがないとのことである。
- 清流中は、クラブの数も少ないと聞く。小学校から中学校まで9年間クラス替えがないのも社交性を

養う上で、少し心配だ。

- 学習面においては、少人数教室がよいと思うが、部活動や学校行事については限界があると思う。また父兄のPTA役員の負担が大きいのも問題だと思う。
- 生徒数が減少している中での集団行動や生徒同士の活動など、統合されることによって人との交流が深まればよいと思う。ただ、学校への通学距離が遠くなってしまう生徒には、交通の手だてをしっかりとってあげる必要があると思う。
- 小学校から統合してほしい。各学校の人数が少ないと、クラブ活動などに制限がかかるような気がする。人数が増えれば子ども達も選択肢が増えてよいのではないか。高校に進学した時、急激な人数の増加で戸惑う子どももいるのではないかと思う。
- 統合は賛成だが、現状の立地条件では賛成できない（印南中・切目中になることが不安）。

【必要でない（心配）】

- 1クラスの人数が増えると、一人ひとりのケアが行き届かないと思う。
- 教育が手薄にならないか心配である。
- 個人のトラブルや勉強のつまずきに向き合うのは少人数の方がよい。特に思春期の子どもは問題行動が多くなるので、大人数だと対応しきれないと思う。
- 少人数の方がまとまりがあってよい。大人数ではいじめが起きやすくなると思う。

【その他】

- 地域性があるので、4つを1つにする必要はないと思う。4つを2つにしてもよいと思う。
- 地域が子どもを育てるという観点から見ると、地域から子どもがいなくなるのは町全体の荒廃に繋がりがねない。ただ、子どもの立場から考えると部活の選択肢が増えるなどのメリットや、教職員の立場から考えると小規模での学習効果の改善などのメリットも考えられる。どの立場を選択するかの違いである。難しい問題だと思う。
- 部活動が今後も続いていくとしたら、人数が少なくなると子どもの選択肢が少なくなると思う。その場合、子育て世帯はどんどん、人の多い地域に流れていくと思う。
- 正直、どちらでもメリット・デメリットがあると思う。現状で満足をしているが、人数が少ないとスポーツ面で、できるスポーツ・できないスポーツができてくるので、そこだけ改善できたらよいのかと思う。例えば月2回ぐらい他校と交わるなど。同じ歳の子であれば顔や名前も分かるので、コミュニケーションもとれるのではないかと思う。
- 集団教育という点では統合が必要だと思うが、新たに校舎を建築となると費用もかかるので、現状ある比較的新しい校舎で、津波等の自然災害で被害の少ない高台の中学校で検討するのもありかと思う。
- 校舎は津波の心配のない場所にしてほしい。集団生活の場としては賛成だが、通学手段（自転車、徒歩、バス等）についてのメリット・デメリットの検討をしてほしい。バスに乗り遅れたらどうなるのか。効率化を求めているとしたら、教育の部分まで効率化や短縮するようなことはしないでほしい。
- 生徒数が減少していくことは、これから先、目に見えて起こってくることだと思うが、思春期という大切な時に大きく環境を変化させることは子ども達にとって大変なことだと思う。同じ地区で中を合同させてみるのはどうだろうか。上の子は下の子を大切に思いやり、下の子は上の子を目標にできるのではないだろうか。
- 災害時でも安全なところに建ててほしい。小学校同士の交流も増やしてほしい。
- 自分の子を通わせるのであれば、複合学級で学習を受けるより、一学年で成り立っているところで学んでほしい。私は働いていて十分な教育など自宅では行う自信がないので、義務教育に期待している。

お金がかかってもしっかり学校でよい教育を受けて、心も身体も育ってほしいと思っている。

○印南町の真ん中につくってほしい。

○1を選んだが、通学面が心配である。近くの稲原中学校でも4キロメートル以上にあるため、統合する場合バス通学は可能なのか。

○現状の学生の人数や教員の人数等を把握できていないので、統合については何とも言えない。情報をいただければありがたい。

○男子ばかりの学年が出来たり、少人数の難しさがある。クラブ活動の種類が少ないなどもあり、子どもたちがどうしたいのか子どもの声を聞いてほしい。

○1校ではなく、2校ぐらいにすればいいと思う。

○中学校を2校にする。

○中学校を統合するのであれば、保育園を統合したのだから小学校も統合するべきである。

○まず、中学校同士の統合ではなく、近くの小学校と統合が一番の解決策だと思う

(2) 小学校保護者自由意見

【必要】

○集団に交わるのが大切と思う。同学年での2クラス制。クラス替えで新たな気持ちで取り組めるタイミングであると思う。組織の一員として、将来の就労の場へ出た時に活かせる、そんな体験につながると考える。

○人数が少なく部活動の選択肢が少ない。今のままでは世界が狭い。もう少し競争心があってもよいのではないかと。

○子どもの人数が少なすぎて、クラブをするにも張り合いがないし、他の学校との差が出てしまうと思う。仲間がいてこそ向上心も競争心もでると思うので、中学校の統合は必要だと思う。学習面では、とてもよいと思うのだが（今のままで）、思い切りクラブを楽しめるのは、中学生生活だと思う。

○早く統合してほしい。

○統合すべき。生徒が少ないため、クラブができない。

○生徒数の減少によって、カリキュラムやクラブ活動でできないことが多くなってきていると思う。こども園で生まれたつながりを活かすこともできると思うし、統合してもマンモス校になるわけではないので、統合の検討は早期に取り組まれるべき課題だと思う。

○クラブ活動等、人数が少ないとできない種目もあり、統合することにより、人数も増えて活動が活発になるのではないかとと思われる。

○こども園では、大人数の中で保育を受け、とても切磋琢磨されたと思う。中学校については、規模が大きくなればクラブ活動についても、学習についても、メリットがあるのではないかと。

○田舎の少人数の中学でいるより、もっと大人数の中学で刺激を受けて毎日過ごす方が子どもにとってよいと思う。大人数の中でもまれて、色々な経験をして中学生生活を過ごしてほしい。

○人数が多い中での集団生活は、成長過程において少人数教育よりもプラスになることが多いと思う。クラブ活動もより充実できるのではないだろうか。

○学習面では、少人数の今のままの方がよいが、部活動や行事については限界が近いように思う。また少人数のままだとPTA活動の負担が大き過ぎるので、統合が必要であると思う。

○人数も少ないので、クラブ活動の観点からも統合も必要だと思う。

○早急に統合を進めてほしい。少人数では競争が生まれないと思う。

○クラブ活動の充実、学力の向上のためにも必要だと思う。

○統合は、早急に必要だと思う。生徒数がこれから急激に増える見込みのない中で、現状の少なさでは

中学生ならではのクラブも機能しない（子どもたちの活躍のチャンスも少なくなる）だろうし、多様性が求められるこの時代にあまりにも少ないクラスでの教育だけでは個々が（親も子どもも）窮屈さを感じているばかりである。人数の少なさ故のトラブルもよく耳にする。

- 高校へ進学した際、少数での教育に慣れてきた子たちが、多数のクラスの中に入れられるのは交友関係を築く面でも、勉学に対する先生との距離の面でも大変だと思うので、中学校統合は必要と考える。
- 今のままだと、人数が少ないために部活動などが思うようにできないと思う。統合に賛成である。
- 小学校入学から中学校卒業までの9年間、生徒数も変わらないというのは刺激が足りないだろうし、部活動も制限されてしまうのは、子どもたちもかわいそうだと思う。
- どの中学校も野球やバレーなど団体で行うスポーツは人数が足りないと聞く。自分のやりたいスポーツを思い切りしてほしいと思う。こういう状況からも中学校の統合は必要かと思う。
- クラブ活動でも、野球等の人数の多いクラブが、部員が足りずに他校との混合チームになったり、クラブの数自体が少なく、新しいスポーツに取り組む機会が減っているため、統合されれば、クラブ活動も充実できると思う。
- 中学クラブ活動の種類が少なすぎるように思う。統合と直接関係あるかはわからないが、運動部しかないというのは、運動が苦手な子や体質上できない子、校外でクラブ、習い事を行っている子達には、もう少し選択肢があってもよいのではないかと思う。
- 子どもが減少しつつある統合は、必要だと思う。クラブ活動なども人数が少ないため選ぶことすらできないものかと思う。統合は、1日でも早くお願いしたい。
- 生徒数が、減ってきているのですぐに統合してほしい。部活動ができなくなるなど、少ないとできないことが増える。
- すべての中学校が存続するのが理想だが、クラスが10名以下になれば、統合もやむを得ないと思う。
- 集団教育という視点や生徒同志の交流を考えると、今後も検討を深めていく必要はあると考える。地域によっては、通学方法であったり、土地の確保であったりと課題もあると思われる。また、職員の配置の検討、クラブ活動等、様々な面で前向きに進めていければと思うし、保護者も一町民として真剣に考える必要があると思われる。住民への説明や、統合の目的が明確であればよい。予算の問題もあると思うが、一定の理解は得られるのではないかと。
- 中学校だけではなく、小学校も統合してもいいと思う。

【必要ない】

- 今のままでよい。
- 地域性も重要視してもらい、今のままでよい。
- 人数的には少人数すぎるとできないことが多くなるとは思う。しかし1か所にするとなると、現印南中では海拔が低すぎる。新しく建てるのは今の中学校施設が無駄になって廃墟感が出て、余計過疎化した感じになりそうだ。少数をプラスに置き換えて、山村留学的な人口を増やす方向や、少数ゆえの指導力の高さ、田舎でしかできないことに目を向けて、統合するかしないか、視察したりして、十分考えてもらいたい。
- いずれは統合するのかわからないと思うが、学校までのスクールバスでの通学が、バス停でおそらく一人で待っていないといけないこと（仕事があるので毎日はずきそってやれないと思う）、思春期なので友達との座席のやりとり、クラブ活動の時間の短縮などが心配だ。今は人数が少ないが（上の中学生の子が）、その分先生の目が行き届き、勉強やクラブ面、精神面でもしっかり支えてもらえている気がする。
- 少人数より大人数の方が学べることが多いと感じる。バス送迎を望む。教員の資質に差がある。採用

時にきちんと適性を判断してほしい。

- 中学校から統合になっても子ども達は仲良くならないのではないか。通学時間の問題など。
- 通学距離が長くなるので、生徒への負担が大きくなるのが懸念される。
- 自宅から中学校が遠くなり通学や送迎が大変なので、そのままよいのではないか。
- 人数が少なく困ることもあると思うが、少ない方が先生方の目が子ども達に行き届きやすいと思うし、子ども達も先生方に話がしやすいのではないだろうか。
- 集団教育も大切だと思うが、少人数には少人数なりのメリットがあるので、今のままがよいと思っている。
- 今のままでよいと思う。
- 机の上の考えだ。単に生徒数の減少のみを見て、クラブ活動が十分に行えないことや小さな集団に起こる問題など、暗の部分で考えがちだが、地域に根差した環境で豊かな心を育ててゆくことは、意味のあることだと思う。現に今の中学生は人数が少ないことに対して、少しも困っていない。少なくとも多くても起こりうる人間関係の問題は同じである。それに清流は人数が増えてくる。
- 地域との交流等の行事、少人数ならではのまとまりなどがなくなるように思う（4つの統合でなく、2つなど）。文化などを考えると、現状が一番だと感じる。
- 遠いところになると通学が大変になる。子どもが自分で通える範囲がよい。

【その他】

- 人数が少なければ統合が必要だと思うが、少なればできる質のよい授業（目が行き届くので）ができるので、それもよいと思う。多ければ多いで色々なことも学べると思うし、先生も増えて、よいことかと思う。クラブ活動は人数が増えて活気が出てくると思う。
- 中学校で統合なら、小学校からの統合が必要かと思う。
- 小中を一貫にする方がよい。
- バスの完全配置。
- 生徒数が増えるとクラブ活動などのレベルが上がるため、よいと思う。生徒数が増えることによってトラブルが多くなるため、先生方の負担が増し生徒全体に目が行き届くのか心配である。同じ印南町であるが地域によって習慣や風習などの違いがあるため、トラブルの原因になるなど保護者のトラブルは増えると思う。
- 実際にその中学校（統合される）に通う、もしくは通う予定の子どもの意見を一番に尊重してほしい。
- （問23 設問文「生徒数の減少や子どもたちへの集団教育という点からも」）これが理由なら小学校も統合の必要がある。もう何年も前から言われていることだ。検討とあるが、結論はいつまでに出すのか。町内の生徒数が何人を切ったらする、などの理由はナンセンスである。
- 必要性は考えられるが、通学の利便性を考えると、各地域に存続している方の負担が少ないと思う。1か所の選べない環境にするよりも、少し分散できればよいが、人数だけ見ると難しい気もする。クラブ活動のみ町内でまとめてスポーツクラブ化にして、集団的な活動が維持できてよいのではないかとも思う。
- 人数が少ないとスポーツ面でできるスポーツ・できないスポーツがある。またスクールバス等も定時・18時・19時等あってもよいように感じる。
- 部活という面からは賛成も可能だが、学力の差が一番不安だ。集団教育のメリット・デメリットもよくわからない。
- 生徒数も少なく、友達も決まっているので、社会に出た時に人間性が養われていなく、打たれ弱い子

どもに育ちがちと思う。ケガや病気の時、家から学校まで遠すぎると不便なところもあり、緊急時に困ることも心配だ。教師の質が最近悪すぎる。安心して子どもを先生に預けられない。もっと安心・安全な学校教育をと思う。最近子どもが帰ってくるまでとても不安な気持ちで、学校は必要なのか、と思うこともある。

- 幼児期に友達となったものの、小学校が離れてしまうことでの仲間意識と、中学校の行事などでの「昔の仲間」的意識がある。印南町では幼児期一つでも小・中で別れてしまうのはどうかと感じている。
- 本当は統合せずにいてほしいが、生徒数が少なすぎて、クラブ活動が残念である。学力面等も競争心がないので残念である。やはり歩いて（自転車）通学してほしい。
- たしかに生徒数の減少は気になるが、少人数のよいところもあると思う。こども園で知っていたとしても、6年も空くと中学生という難しい年頃には大変なことも多いと思う。
- 私が中学時代にも統合の話があったが、結局立ち消えとなった。あれから30年がたち、子どもの数も半分になった。町内4小中学校の教育は手厚くととてもよいと思うが、クラブ活動のことを考えると統合も必要かと思う。学校の統合が難しいなら、クラブ活動だけでも統合してはどうか。
- 印南と稲原、切目と清流の統合がよいと考える。
- 印南中に関しては、現在2クラスの所もあり、高校受験も控えている。大切な時期なので、一人一人に目を配っていただきたいと思っているので、これ以上人数が増えることは反対である。人数が増えると友達とのトラブルやいじめ等の問題も多くなってくるかと心配になる。
- 人数が少なくなってきている中学校もあるので、不登校や学力の低下など様々な問題が出てくると思う。しかし、逆に統合をする事によって、今までになかったデメリットも出てくると思うので、統合は賛成だが、心配な面もある。
- 1つの中学校にするよりも、2校ぐらいにするのがいいと思う。
- 必要だと思うが、こども園のように遠すぎて不便だったら嫌だと思う。
- 生徒数の減少する中、クラブ活動や学習面など様々な面において変化も必要になってくると思う。生徒（子どもたち）にとって一番いいようにと考えていただける事を願っている。
- どこの先生がよいとか悪いとか、学校の差がなくなるのではないかと思う。支援学級を作る場合も中学校が1つであれば、支援のいる子どもの人数がひとまとまりになるので、お金がかかるからダメであるとか、理解のない教育委員会の方に、子どもを支援学級に入れたいと思う親がおかしいとか言われなくてもよくなるのではないか。
- 統合することになれば場所はどこになるのか。今のままなら自転車等で登校できるが、できなくなった時（遠くなった時）かわいそうだと思う。集団生活は、大切だと思うが、学年の人数を増やすことだけがすべてではないと思う。学年の人数が少ないから、他学年との交流が増え、下の子を思いやる心を気付けると思う。
- 各中学校の維持費と統合した場合の費用（人件費も含めて）を比較して説明すれば納得してもらえるのではない。
- 印南中と稲原中、切目中と清流中が統合するならよいと思う。
- 統合は必要かもしれないが、中学校をどこにするかきちんとした計画をたてて考えてほしい。考えがまとまり、地域の納得がない状態では計画は進めないでほしい。
- 人数が少ないため、逃げ道がない。先生の質が悪いため、まともな子が我慢しなければならない。部活も少なすぎる。消去法で選ぶ部活、素人顧問、やる気が出るはずがない。
- 制服はそのままでもよい。新しいのに変わると今来ている制服がもったいない。ブローチなど統合のしるしのものをつけたらよいと思う。

(3) 令和元年度実施 まちづくりのための町民アンケート調査（19歳以上） 自由記述

- 中学校を町内1校に。(男性・55歳)
- 中学校統合を早くしてほしい。(男性・58歳)
- クラブ活動ができていない。(男性・71歳)
- 小中学校は印南町で一つにまとめるべき。(男性・52歳)
- 町内中学校の合併統合。学力、スポーツ等の向上のために。(男性・75歳)
- 学校の統合(中学・小学とも各1校)
- 小中学校の統合(男性・69歳)
- 小中学校の統合を実現してほしいです。部活動がほぼできないような学校が出てきます。
(男性・44歳)